



決勝レポート

2026/4/5 Rd-2 モビリティリゾートもてぎ

天候：曇り 気温：22℃ 出走台数：24台

観客数：3日(金)4,500人 4日(土)17,500人 5日(日)24,000人 合計46,000人

2レース制で開催される第1大会2日目Rd2 モビリティリゾートもてぎ決勝。

昨日の冷たい雨から打って変わって、ドライコンディションで決勝を迎える。

ポールスタートの太田選手は素晴らしい加速で首位のまま1コーナーへ入るが、ブレーキングでやや行き過ぎたか、1コーナー出口でワイドに膨らんでしまい、2位スタートの大湯選手に2コーナーで並ばれ2番手にドロップ。

牧野選手はオープニングラップのS字コーナーで起きたクラッシュをうまく避けることが出来たが、1つポジションを落とし19番手でオープニングラップを周回した。

続く2周目に最終コーナーでストップ車両が発生しセーフティカー（以下SC）が導入される。7周目にリスタートとなり、チームは2位を走行する太田選手をピットストップウィンドウの開く10周目にピットインさせる予定でいたが、その10周目に大湯選手がピットインしたため急遽作戦を変更。集団でペースを上げられない牧野選手を先にピットへ呼ぶ。ステイアウトした太田選手はタイヤ交換グループとのタイムマージンを稼ぐべくファステストラップを更新しながらのアタックモードで周回。チームは20周目に太田選手をピットに呼び、コース復帰したところで見事オーバーカットに成功し、事実上の首位を取り戻す。その後もファステストラップを刻みながら後続を引き離し、見事ポルトゥウィンで開幕2連勝を飾った。

牧野選手は膠着状態の集団の中13位までポジションを上げるが、ポイント圏には届かずにレースを終えることとなった。

5：牧野任祐 選手 13位

昨日も今日も、予選がすべてだったなと思います。

決勝レースもしぶとく集中して走りましたが、集団の中で出来ることがあまりなく、ポイントを取れずに開幕2戦を終える結果となりました。

チームは素晴らしい力を持っているので、次戦オートボリスまで時間が無いなかですが、チームとしっかりと仕切り直して、残りのレースで確実にポイントを取り続けるシーズンにしたいです。

6：太田格之進 選手 優勝

ポルトゥウィンで開幕2連勝の結果は最高に嬉しいです。

スタートでポジションを失ってしまいましたが、ステイアウトしてペースを維持し、オーバーカットも完璧に決まりました。チームの強さをこの後のシーズンでも維持し、チャンピオン争いを優位に進めていきたいです。